

S810-LAS 機能比較表

S810-LASの各バージョンの機能比較表です。詳細については各製品情報ページをご覧ください。

	LAS 1.22aW/1.23	LAS 2.04/2.05	LAS 3.11/3.12
対応 LIN Revision	1.1, 1.2/1.3	1.2/1.3	1.2/1.3, 2.0
対応 OS			
Windows98/98SE	● (1.22aWのみ)	● (2.04のみ)	● (3.11のみ)
WindowsMe	● (1.22aWのみ)	● (2.04のみ)	● (3.11のみ)
Windows2000	●	●	●
WindowsXP	● (1.23のみ)	●	●
Windows7 (32bit)	● (1.23のみ)	● (2.05のみ)	● (3.12のみ)
モニタウィンドウ			
最大モニタリング(メッセージ)数	1500	1500	100000 (*1)
ID別上書きモード	●	●	● (別ウィンドウ)
Node別上書きモード	—	—	●
キャプチャ機能	—	—	●
フレーム識別表示機能	—	—	● (4フレーム)
タイムスタンプ切り替え機能	—	—	●
マスターシミュレーション			
スケジュール送信	●	●	●
Delay設定(1ms~65535ms)	● (*2)	●	●
スケジュール送信最大設定数 (*3)	1	16	16
キー割り込み送信	●	●	●
エラーフレーム送信 (*4)	—	●	●
実行中のデータ変更	—	●	●
スレーブシミュレーション			
設定可能フレーム数	8	16	16
エラーフレーム送信 (*4)	—	●	●
実行中のデータ変更	—	●	●
シグナルモニタ機能	—	—	●
ボーレート測定機能	—	—	●
モニタレコード検索機能	—	—	●
オプション設定			
ボーレート設定 (bps)	500, 1k, 5k, 10k, 15k, 20k, 25k, 600, 1200, 2400, 4800, 9600, 14400, 19200		
ウェイトビット挿入	—	●	●
ロギング(テキスト形式で保存)	●	●	●
ログファイル名のナンバリング	—	—	●
モニタ表示マスク設定	●	●	●
DL定義	● (*5)	●	●
拡張フレーム対応	● (*5)	●	●
パターンファイル出力機能	—	●	●
wakeup幅	8bit		50 μs~ (*6)
チェックサムタイプ	Classic		Classic/Enhanced (*7)
LDF読み込み機能	—	—	●
LAS設定情報ファイル (*8)	●	●	●
ステータスウィンドウ			
バスステータス表示	●	●	●
総表示フレーム数	●	●	●
バス占有率表示	●	●	●
wakeup送信	●	●	●
Sleep送信	●	●	●

(*1) Windows98/98SE/Meでは、最大メッセージ数が30000レコードになります。

(*2) 全フレームで共通なDelay設定となります。

(*3) 1スケジュールにつき32フレームが設定可能です。

(*4) マスターシミュレーションではSynchBreak too Long(SynchBreak-L)、SynchBreak too Short(SynchBreak-S)、SynchField、Parity、CheckSum、ShortMsgの6つ、スレーブシミュレーションではCheckSumとShortMsgの2つがそれぞれ送信可能です。

(*5) LIN Rev.1.2を選択時のみ設定が可能です。

(*6) LIN Rev.1.3を選択時は8bit固定になります。

(*7) LIN Rev.1.3を選択時はClassic固定になります。

(*8) バージョン間の互換性はありません。